

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体的な拘束はないが、うっかり、言葉による拘束が見られる事がある為、改善していかなければならない	身体的な拘束はもちろんの事、言葉・ものによる拘束をなくしていく	入居者の思い・考えをお聞きし、職員が入居者の立場に立った支援をできるように、職員皆で支援の方向性を共有する	6ヶ月
2	38	「その人のペース」を意識はしているものの、業務等に追われ、職員ペースになっている事が見られる時がある	集団生活という場の中、極力「個」を尊重し快適に過ごしていただけるよう、支援を行っていく	「その人」をしっかり理解できるように、入居者把握を行い、「その人」の合ったタイミング等を模索し対応出来るようにする	6ヶ月
3	2	少しずつ地域とのつながりが増えてきているが、まだまだつなげられる余地がある	更に地域資源を発掘・模索し交流を図れるようにする	もっと、もっと地域に出て、情報収集を行い、積極的に地域とつながっていく	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。